

ピアノと活弁のライブで楽しむ上映会

「アニメ あらかると! 音楽とフィルムが奏でるアニメーションの世界」を開催します

川崎市市民ミュージアムは、2024年3月2日(土)に、中原市民館で上映会「アニメ あらかると! 音楽とフィルムが奏でるアニメーションの世界」を開催します。

映画に音がつけられなかった頃は、伴奏や活動弁士、レコードと共に映画を楽しんでいました。今回フィルム上映する短編アニメーション5作品のうち、無声時代の3作品では、ピアノ伴奏と活動弁士による解説を付け、約100年前の映画館の雰囲気再現します。さらに、レコード音楽に合わせて女の子の一日が始まるトーキー時代初期の愉快的アニメーションと、川崎市市民ミュージアムが開館して間もない時代に、館のロゴマークを使って25名の作家とワークショップ参加者が作り上げたオリジナル作品を上映します。

会場は、小さな子ども連れの方も参加しやすいよう、ベビーカーでの鑑賞や途中での入退場もできる形式とするほか、上映終了後には、「初期映像装置 体験コーナー」を開設。幻灯機や映写機等の昔の映像装置を見て触れる貴重な体験を、多くの方に楽しんでいただける機会です。

開催概要

日時: 2024年3月2日(土) 13:30~14:40 (受付開始 12:30)

料金: 一般 600円、小中高生 400円

未就学児・障害者手帳等をお持ちの方とその介護者は無料

※お支払いは当日会場にて、現金のみ。各種割引をご利用の方は証明できるものの原本を御提示ください

定員: 150名(自由席)

※小さなお子様は保護者同伴で御参加ください。ベビーカー・車いすでの入場可

会場: 中原市民館 ホール(多目的) 〒211-0004 川崎市中原区新丸子東 3-1100-12

申込: 事前申込制 (web 受付)

申込期間 2024年2月5日(月) 10:00 ~ 2月19日(月) 16:00

※1組4名まで応募可、申込多数の場合は抽選(当選者のみに2/22までにメールで連絡)

申込先 <https://www.kawasaki-museum.jp/cinema/28994/>

主催: 川崎市市民ミュージアム

技術協力: 有限会社鈴木映画

協力: 国立映画アーカイブ、神戸映画資料館

広報協力: 「映像のまち・かわさき」推進フォーラム



上映作品
「正チャンの冒険」
の主人公

ピアノ伴奏者

やなした
柳下 美恵



SS

活動弁士

おだ
尾田 直彪



「活弁」とは

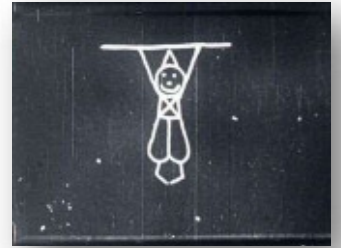
無声映画の上映中に、専任の活動弁士が内容や台詞の解説をつけること。活動写真(無声映画)を弁ずる解説者を活動写真弁士(略して活動弁士、または弁士)と呼ぶ。

上映作品

① エミール・コール短編作品集

(1908年～1912年/監督：エミール・コール/16ミリ/白黒/17分/18fps)

パリ出身のエミール・コールによるアニメーション誕生の記念碑的作品「ファンタスマゴリー」(1908)は、世界初のカートゥーンアニメーションといわれる。ほかにも、実写のストップモーションを使用した映画など、趣向の違う短編4作品を上映。



② 正しょうチャンの冒険

(1925年頃/監督：不明/16ミリ/白黒/7分/16fps) 神戸映画資料館蔵

大正時代に『日刊アサヒグラフ』、『朝日新聞』で連載され、一大ブームを巻き起こした4コマ漫画『正チャンの冒険』(作：小星しょうせい、画：東風人とうふうじん)をアニメーション化したもの。旅の途中、砂漠に怪しげな遺跡が現れ、正チャンと相棒のリスが冒険を繰り広げる。



③ 心の力

(1931年/監督：大藤信郎おおふじのぶろう/35ミリ/白黒/18分/16fps) 国立映画アーカイブ蔵

大藤信郎が製作した千代紙の切り絵アニメーション。動物や怪物などのキャラクターが魅力的。



画像提供：国立映画アーカイブ

④ 茶目子ちゃめこの一日 [パテートキー版][デジタル復元版]

(1931年/監督：西倉喜代治にしくらまよじ/35ミリ/白黒/7分) 国立映画アーカイブ蔵

レコードの音楽に合わせて、小学生茶目子の一日が始まる。一度聴いたら忘れられない歌と、日常を擬人化した愉快的アニメーション。



画像提供：国立映画アーカイブ

⑤ アニメ あ・ら・かると

(1989年/演出：福島治ふくしまはる/35ミリ/カラー/10分)

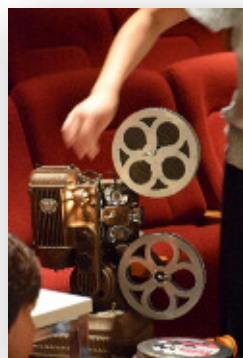
川崎市市民ミュージアムが製作。25名のアニメーション作家とワークショップ参加者がミュージアムのロゴマークを題材に製作した、様々な作風が楽しい連作アニメーション。



「初期映像装置 体験コーナー」上映終了後 1 時間程度実施 (14:40～15:40 予定)



プラクシノスコープ



映写機

※画像はイメージです。実際体験する機材とは異なる場合があります。

プラクシノスコープ(回転のぞき絵)や、幻灯機、映写機、フィルムなど、昔の映画やアニメーションの映像装置を見て、触れる体験をすることができます。

【問合せ先】川崎市市民文化局

川崎市市民ミュージアム 押田

電話：044-712-2800